私は、介護福祉士をしています。働き始めて2年たちました。
社会人1年目の5月に、新入所してこれれた1人の女性利用者さんがいました。
以下、Kさんと呼ばせて頂きます。
担当として就職して間もない頃だったため、

どういう方なんだろうとワクワクドキドキながらも精一杯で、手探り状態でした。
ある日の日勤勤務の事、Kさんから「リンゴを剥いてち
ょうだい」と要望があったので
「分かりました。少しお待ちください。」と一言、声を掛
けて直ぐに取り掛かったのですが、5分も経たない内に、「遅い!私20分も待たされてるんだよ!何でそ
んなに時間かかるの?」とクレームが入りました。
この日以降も変わらずKさんは、ユニット職員や他職種
職員に容赦なくクレームを入れるのを見て、「Kさん
はこういう人なんだ。私にだけじゃないんだ.」と納得しました。
社会人2年目に差し掛かったある日の早番のことです。Kさ
んは朝から不機嫌で朝食も拒否して、お部屋で過ごされていましたが、朝9時前
にナースコールが鳴りお部屋に伺ったら、
色々ご不満を吐露され、最終的に「貴方みたいな人ここ
辞めた方がいいんじゃない！」と言われました。
あまりにもひどい言い方だったので

頭が真っ白になり、何も考えられなくなるほどでした。
そんな状態が毎日続いたので、

ユニットの先輩職員に報告し、わたし自身も「辞めたい」と思うところまで追いつめられていました。
先輩職員は「そんな理由で辞めるのは勿体ないよ」、
「私たちが味方だよ」と励ましてくれました。
教会の方にも話しをしてて励ましてもらいました。
そのお陰で、なんとか介護士を続けようと思えるようになりました。
この出来事以降も、Kさんからの"ハラスメント"は続き根も葉もない話をされたり、暴言を吐かれ、内外ともに疲れ果てる事が多々あります。

けれど、職場の同僚に話したり、教会の人に話したりして、未熟な私には今も高い壁ではありますが、Kさんの名前を祈ったりホ・オポノポノを毎日してみました。そうやってスッキリさせて一日を出発できるように心がけました。だいぶ別の目でKさんを見れるようになってきたと思います。私にとってこのことが南北統一に通じることになると思いました